

シルバー ながの

第41号
2019.3月発行
SILVER
NAGANO

公益社団法人

長野県シルバー人材センター連合会

〒380-0841 長野市大門町51番地1

TEL 026-237-4680 FAX 026-237-5665



「阿南町コミュニティの森」 の桜

ここ、「阿南町コミュニティの森」は近くを通る国道一五二号線より望める高台にあるため、国道沿いの桜より十日ほど遅く、四月中旬ころより咲き始め、四月下旬に見頃を迎えます。

この森は町の中心的な交流の場であり、住民の文化・芸術、スポーツ活動の推進及び交流の場として、集会施設・文化施設・体育施設を阿南町が整備したものです。

ここが整備された当時は、施設の周りが殺風景だったため、この施設を利用する住民の皆さんの憩いの場にもなるようにとの思いと施設の完成を記念して、二〇〇本以上の桜を役場職員が一丸となって植樹し、地域住民も一緒に管理し育ててきたものです。

樹齢四十年を超える此処の桜が満開になるのを楽しみにしている方々が大勢います。

今年も、コミュニティの森の桜が咲き誇り、訪れる人々を魅了します。

写真・紹介文提供 阿南町役場振興課
問合せ 0260・22・4055

連合会設立 20 周年記念式典開催



公益社団法人 長野県シルバー人材センター連合会は
今年度 20 周年を迎えました

20周年記念式典開催

|| 安全・適正就業推進大会も同時開催 ||

去る11月1日（木）、岡谷市文化会館カノラホールにおいて、シルバー人材センターの更なる発展を目指して、設立20周年記念式典を開催いたしました。

第一部の記念式典では、大月利和副会長の開式のことばに続いて、酒井登連合会会長の式辞の後、連合会海野事務局長からの経過報告の中で設立20周年記念誌の紹介を

しました。

▲ 酒井会長挨拶

その後、多年にわたるシルバー事業発展への功労を讃え、更埴地域シルバー人材センターの関口幸男理事長と諏訪市シルバー人

材センターの平林正孝事務局長に表彰状を贈呈、受賞者を代表して関口理事長から謝辞をいただきました。

続いて、来賓として、長野県知事 阿部守一様代理の内田雅啓産業政策監兼産業労働部長様、長野労働局の石田茂雄局長様、長野県議会議員 鈴木清様代理の荒井武志環境産業観光委員長様からそれぞれご祝辞をいただきました。

併せて、公益社団法人 全国シルバー人材センター事業協会 会長 前田龍一様からの祝電を披露しました。

大月利和副会長の閉式のことばで、第一部を閉じました。

連合会は、これを一区切りとして、次の30周年に向けた歩みをスタートしたところですが、今後も各センターと共に会員に喜ばれる運営に邁進してまいりますので、引き続きご理解とご支援をお願いいたします。



▲ 海野事務局長



▲ 内田産業政策監



▲ 石田労働局長



▲ 荒井観光委員長



▲ 平林事務局長

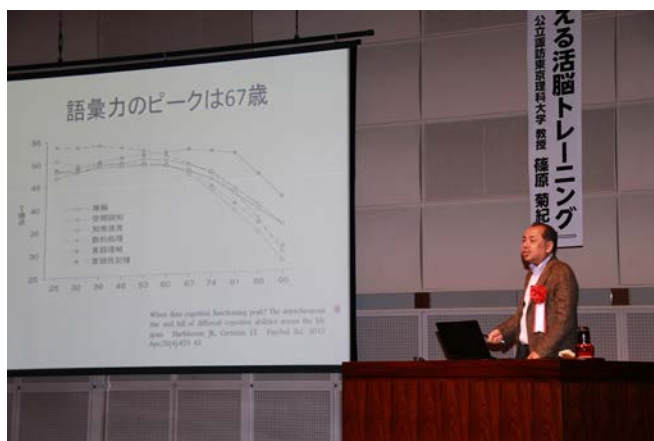


▲ 関口理事長

酒井会長から感謝状の贈呈

脳を鍛える 活脳トレーニング

第二部の記念講演では、『脳を鍛える活脳トレーニング』と題して、公立諏訪東京理科大学の篠原菊紀教授からご講演をいただきました。様々な身振り手振りなどを交えた楽しい内容で、会場は大いに盛り上がりました。



▲ 諏訪東京理科大学篠原教授の講演



安全・適正就業推進大会

第三部の安全・適正就業推進大会では、酒井登連合会会長、安全・適正就業推進委員会の大月利和委員長の挨拶に続いて、平成三十年度の安全・適正就業標語の入選作品、最優秀賞及び優秀賞各一点、佳作三点の表彰を行いました。

その後、「安全就業シルバー人材センター優秀賞を受賞して」と題して、小諸北佐久シルバー人材センターの小林憲一専務理事・事務局長からセンターの活動紹介を含めたご講演をいただきました。

続く、研修では、連合会の浅川千秋安全適正就業・パトロール指導員から「安全就業について」と題して、これまでの安全就業対策への取組や成果についての報告をしました。



▲ 小林専務理事・事務局長

安全標語・最優秀賞は 長野SCの三森京子さん

応募総数641点の中から、外部審査員を交えた審査の結果、長野シルバー人材センターの三森京子さんの作品が最優秀賞に選ばれ、他の入賞者と共に、安全・適正就業推進大会において酒井会長から表彰状が贈られました。

応募 358人 641作品
敬称略



▲ 大月委員長



▲ 浅川指導員

平成30年度 安全・適正就業標語入賞作品

最優秀賞 長野SC 三森 京子

「事故のもと

慣れて横着 自分流」

優秀賞 松本地域SC 野本 俊子

「老いを知り

己を知って事故防ぐ」

佳作 更埴地域SC 春原 秀光

「二度でも

ヒヤリハットはすぐ改善」

佳作 30年度草刈講習受講者2班

「忘れるな

基本動作と危険予知」

佳作 北アルプス広域SC 遠藤 武

「しめましよう

心のゆるみと安全帯」



▲ 標語表彰

**理事長・事務局長合同意見情報交換会及び正・副理事長研修会
長野市で開催**

本年度の理事長・事務局長合同意見情報交換会が8月27日、長野市の「ホテル信濃路」で県内21センターの理事長・事務局長42名が参加して行われました。

酒井連合会会長の挨拶に続き、「総会・諸会議への会員の参加促進」、「会員の資質向上に向けた指導・研修」、「専門部会等の設置・運営」、「会員拡大に向けた取り組みや褒賞制度の内容とその成果」、「安全就業に係る損害賠償保険の免責設定とその効果や認知症対策」、「最低賃金・消費税引き上げに対する対応」等の9項



▲ 理事長・事務局長合同意見情報交換会

目について熱心な意見交換が行われました。



▲ 正・副理事長研修会

午後からは、49名の参加を得て、正・副理事長研修が行われました。

酒井連合会会長の挨拶に続き、講師に（公社）全国シルバー人材センター事業協会の福島業務部長を迎え、「シルバー人材センターの発展に向けた役員の役割について」と題して講演をいただきました。

まず、公益社団法人について、位置付けや各機関の構成、理事長や理事の役割や責任について、資格要件や損害賠償責任なども含めてご説明いただきました。

その上でセンター運営の代表者である理事長には、適正な組織体制（ガバナンスIIIG）、透明性（ディスクロージャーIIID）、法令遵守（コンプライアンスIIIC）

の3大原則に則り、目標と計画に沿った組織運営を期待されました。

加えて、課題として、「会員の増加」、「センターのイメージの転換」、「補助金の効果的活用」の3点を挙げられ、会員や発注者・地域のニーズに対応し、地域社会や人手不足分野、現役世代を支えるという役割を発揮できる事業展開も併せて期待し、話を結ばれました。

**業務担当研修会
松本市で開催**

11月27日、業務担当研修会が、松本市島立公民館で、県内センターの業務担当職員等40名が参加して行われました。

最初に、松本労働基準監督署の滝沢清和業務課長から「労働災害の現状と事故発生時の対応方法について」と題してご講演をいただきました。県内の労働災害の発生状況と休業補償などの制度の詳しい内容を説明いただきました。事故防止に向けた日々の安全就業の徹底の大切さと万が一事故が発生した場合には迅速かつ正確な申請の必要性を改めて確認しました。

続いて、今年度は派遣事業に限定し、「各センターが抱える課題について」予め6センターから提出いただいた15課題について話し合いを行いました。

有給休暇や社会保険、安全就業に関する事その他、請負・委任から派遣への切替えや新規受注と会員確保やそのマッチン

グの難しさなども共通の課題となっており、当日は、時間の制約もあり、深い議論にまでは至りませんでした。連合会として個別の質問・回答を随時全センターが情報共有できるように努めていくこととしました。

トピックス

―連合会事務局職員の異動―
昨年、十月末をもって長年、安全・正就業の推進に尽力された浅川パトロール指導員が退職され、十一月から新たに内田悟さんがパトロール指導員として就任しました。

また、二月から、総務・経理担当職員として岩崎優子さんも加わりました。早く業務に慣れ、皆様のお力になれるよう頑張らせていただきます。



▲ 岩崎さん・内田さん

平成30年度 高齢者活躍人材育成事業 技能講習実施状況

(平成31年2月末現在)

| 実施市町村 | 講習名 | 講習期間 | 日数 | 定員数 | 申込者数 | 講習開始者 | 修了者数 | ※新規入会者数 | 就業者数 | | |
|---------|-------------------|-----------------------|----|----------------|------|-------|------|---------|------|----|-----|
| | | | | | | | | | 関連 | 他 | |
| 長野 | 調理補助スタッフ講習 | 7/17～7/26 | 5 | 15 | 15 | 13 | 13 | 10 | 7 | 0 | |
| | スーパーマーケット業務講習 | 11/13～11/20 | 4 | 15 | 9 | 8 | 7 | 5 | 4 | 1 | |
| 松本地域 | 果樹農園スタッフ講習 | 5/18～5/22 | 3 | 10 | 12 | 11 | 11 | 2 | 10 | 0 | |
| | 果樹剪定講習 | 2/5、2/7 | 2 | 15 | 40 | 36 | 36 | 6 | 28 | 0 | |
| 塩尻地域 | 福祉移送サービス運転者講習 | 8/10、8/19、9/1、9/4 | 4 | 10 | 18 | 13 | 13 | 2 | 6 | 1 | |
| 岡谷下諏訪広域 | 総合事業訪問型サービス講習 | 11/19～12/7 | 4 | 10 | 8 | 8 | 8 | 1 | 3 | 0 | |
| 飯田広域 | ハウスクリーニング講習 | 8/27～9/3 | 5 | 15 | 14 | 13 | 13 | 2 | 11 | 8 | |
| | 福祉施設アシスタント講習 | 10/2～10/12 | 5 | 15 | 15 | 13 | 13 | 2 | 8 | 5 | |
| 佐久 | 日常生活支援講習 | 6/20～7/11 | 4 | 15 | 12 | 11 | 11 | 0 | 2 | 0 | |
| | 介護食調理講習 | 10/25～10/31 | 4 | 15 | 18 | 15 | 15 | 0 | 4 | 0 | |
| 上田地域 | 日常生活支援講習 | 7/19～7/25 | 4 | 15 | 19 | 13 | 13 | 4 | 10 | 8 | |
| | 福祉移送サービス運転者講習 | 10/5、10/6、10/20、10/24 | 4 | 15 | 27 | 14 | 14 | 4 | 12 | 6 | |
| 伊那広域 | 日常生活支援講習 | 11/14～11/21 | 4 | 10 | 10 | 9 | 9 | 2 | 6 | 5 | |
| 須高広域 | 果樹剪定講習 | 1/30、2/4 | 2 | 15 | 22 | 19 | 19 | 0 | 12 | 0 | |
| 中野広域 | 福祉移送サービス運転者講習 | 10/3、10/6、10/20、10/22 | 4 | 15 | 17 | 16 | 15 | 3 | 14 | 9 | |
| 飯山地域 | 福祉・サービス施設アシスタント講習 | 11/22～11/30 | 5 | 15 | 10 | 10 | 10 | 3 | 7 | 2 | |
| 安曇野 | 果樹農園スタッフ講習 | 5/17～5/28 | 3 | 10 | 7 | 7 | 5 | 4 | 4 | 0 | |
| 木曾 | クリーンスタッフ講習 | 11/7～11/14 | 4 | 10 | 11 | 9 | 9 | 2 | 5 | 1 | |
| 阿南広域 | 学童保育支援講習 | 6/28～7/6 | 4 | 10 | 13 | 13 | 13 | 2 | 13 | 0 | |
| 合計 | | | | ※(関連就業率=45.8%) | | 250 | 297 | 251 | 247 | 54 | 166 |
| | | | | | | | | | | | 115 |
| | | | | | | | | | | | 51 |

講師さんの声

株式会社サニクリーン 甲信越
営業企画室 内山 祐希

今年度ご縁があり、お掃除技能講習会の講師として参加させて頂くことになりました。2会場4日間の講習でした。弊社として開催するのは初めてのためとても緊張していました。しかし、受講頂いた皆さんがとても優しく、また笑顔で講義を聞いてくれたことで安心したことを覚えております。

お掃除自体は、誰もが普段から行っているためプロならではのコツなどしっかり伝えられるか不安でしたが、講義が始まる皆さん真剣にメモを取りながら聞いてくださり、とても話しやすい環境を整えて頂きました。本当に感謝しております。

実技では、限られたスペースや状況の中で行ったため、受講された方々の要望通りにはいかなかったと思っております。しかし皆さん積極的に参加して頂き楽しみながら実技を行って頂きました。ベテランの方々ということもあり、初めて使った道具も上手に使われていました。

我々清掃業界は、人手不足となってきました。今回の講習を機により一層、清掃業界に興味を持っていただき、ご家族やお知り合いにもお掃除の仕事を進めて頂ければと思います。

最後に、私たちサニクリーン 甲信越は、お掃除の専門知識や技術を持ったアドバイザーとして社会や地域の方々の生活環境をより快適にするために日頃からお掃除に関する情報を発信しております。今回の講習会だけではまだまだお伝え出来ない事も沢山ありますので、機会がありま

したら是非また講習会を行わせて頂きたいと思っております。

講習会でご一緒させて頂きました皆様の益々のご活躍をお祈りしております。

受講生の声

クリーンスタッフ講習に参加して
大橋 理恵

今まで勤めていた職場は、六十五歳までというところで、8月に退職となりました。

その後、ハローワークでも「年齢不問」という求人案内でも、「年齢的に…」と断られてしまいました。自分では若いつもりでしたが、六十五歳になると介護保険料も上がり、世間ではそういう年齢なのかなと、暗い気持ちになりました。

そんな時、町広報でこの講習会のことを知り、迷っていましたが、友人の誘いもあり参加させて頂くことになりました。

クリーンスタッフ講習では、それぞれの部所の特徴、その場所に合った洗剤・清掃用具・方法等、細かく丁寧に、分かりやすく教えていただきました。時には、細菌の実験等も取り入れていただき、数字的に納得できる様に説明していただき、裏技を教えていただいたり、毎日興味深く講習を受けさせていただきました。あつという間に時間が過ぎました。

今までの清掃の仕方を見直し、「おそうじマイスター」から伝授していただいたことを実践していけるよう努力していきたいと思っております。ありがとうございます。

シルバー人材センターでは様々な分野で皆様が活躍されているとのことなので、六十五歳にこだわらず、前を向いて行こうと思っております。

公益社団法人
岡谷下諏訪広域シルバー
人材センター

シルバーだより



諏訪湖の白鳥と水鳥…遠方に八ヶ岳連峰を望む
(写真提供：三枝吉市 会員)

〒394-0081
岡谷市長地権現町四丁目11番50号
おかや総合福祉センター内

TEL 0266-23-0760

FAX 0266-23-4936

- ・ 理事長 田中 英興
- ・ 専務理事・事務局長 宮澤 順
- ・ 法人設立 昭和60年 8月 1日
- ・ 構成市町 岡谷市、下諏訪町
- ・ 会員数 471人(平成30年 3月末)
- ・ 契約金額 249,059千円(平成29年度実績)



地域の概要

当センターの活動地域である岡谷市、下諏訪町は、長野県のほぼ中央に位置する標高約759メートルの諏訪湖に面し、東に八ヶ岳連峰、遠くには富士山を臨む、湖と四季を彩る山々に囲まれた、歴史と文化の薫り高い風光明媚な地域です。

センターの概要

当センターは、昭和60年8月に「岡谷市シルバー人材センター」として、県下では4番目に発足し、その後、昭和62年4月に県下で初の広域シルバーとして、

新たな事業の取り組み

● 空き家管理サポート事業
(平成29年4月～)

「岡谷下諏訪広域シルバー人材センター」を設立、平成23年4月に公益社団法人となり、現在に至っています。
平成29年度の会員数、契約金額を10年前の平成19年度と比較すると、会員数が174名、契約金額では1億2千万円減少しており、会員の増強と就業開拓が課題となっています。
このため、会員総参加による「一人一会員入会運動」、「一人一仕事開拓運動」を推進しているほか、新たな事業の取り組みも行っています。

活動の紹介



シルバーフェア
同好会・独自事業部で作製した作品の展示・販売などを行っています。



社会奉仕活動
事務所がある諏訪湖ハイツ、町庁舎、公園の除草作業などを年2回行っています。



ヨガ教室
心身ともにリラックス!



料理教室
今年から男性会員も参加!

建物などの状況を所有者に代わり点検し、その結果を報告する事業です。建物の外壁や屋根、窓、雨樋等の状態や不法投棄、郵便物の有無などを写真とともに報告します。
現在は、ふるさと納税の返礼品としても登録しています。

● 介護予防・日常生活支援総合事業
(平成29年10月～)
介護予防・日常生活支援総合事業の事業者指定を受け、介護保険の訪問介護(ホームヘルプサービス)の内、身体介護を除いた掃除、洗濯、調理などの「生活援助」(訪問型サービスA)を実施しています。

公益社団法人
須高広域シルバー
人材センター



村山農園

(信州の伝統野菜「村山早生ごぼう」の栽培)

〒382-0076

須坂市大字須坂1218番地

TEL 026-246-2003

FAX 026-246-2579

- ・理事長 島田 勝太
- ・副理事長 北垣内 裕
- ・専務理事・事務局長 古平 幸正
- ・法人設立 平成3年 4月 1日
- ・構成市町村 須坂市、小布施町、高山村
- ・会員数 674人(平成30年 3月末)
- ・契約金額 328,006千円(平成29年度実績)

地域の概要

当センターは、長野県の北東部に位置し、須坂市、小布施町、高山村の3市町村で構成された広域センターです。

東には上信越高原国立公園があり、豊かな自然と多くの温泉があります。また、西には千曲川が流れ、全国でも有数のりんご・ぶどうなどの果樹の産地であり、風土を活かした博物館、美術館などの観光資源も豊富です。

地域に親しまれ信頼される
センターを目指して

少子高齢社会の急速な進展、雇用延長等による会員の減少や会員の高齢化が進

- みつつあり、就業ニーズに 대응することが難しくなっていることから、地域に親しまれ信頼されるセンターとして会員や就業機会の拡大が大きな課題になっております。
- このことから、まずは当センターを知っていただくため、情報発信に努め、センターのイメージアップと魅力あるセンターづくりに努めています。
- オリジナルポスターの制作・掲出
- 介護保険証交付時に会員募集チラシの配付
- 会報「シルバー須高」の全戸配布
- ホームページのリニューアルの実施
- 入会説明会開催回数が増
- 事業所訪問や街頭啓発活動の実施
- 各種イベントへの参加
- 公開講座の実施(野菜の育て方など)

シルバーだより



SUKO



国指定名勝 米子大瀑布群(須坂市)



栗の小径(小布施町)



山田温泉大湯(高山村)

地域の紹介



シナノスイート

シナノゴールド

特産品

桃

サンアジ

シャインマスカット

栗

ナガノパープル

- シルバー農園事業の実施(シルバー農園・交流運営委員会を組織し、信州の伝統野菜「村山早生ごぼう」の栽培を行い、作物を育てる喜び、そして何よりも会員相互の連帯と交流につながっています。)
- 世代間交流事業の実施(子育て支援センターを利用する親子等と農園などで交流)
- 福祉施設等でのボランティア活動

生事業等として、会員応援事業やポイント制度の実施、会員の集う場づくりなどを行っています。

今後も地域のニーズに対応した事業の推進、シルバー派遣事業の推進、安全就業の徹底などに努め、信頼されるシルバー、確かな仕事をするシルバーとして、認知度の向上と就業機会の拡大等に努め、地域に親しまれ信頼されるセンターを目指して、さらに努力してまいります。

重篤事故が増加しています!!

平成30年度4月～平成31年度1月における重篤事故件数は昨年同期と比べ増加しています。

死亡または6ヶ月以上入院事故件数は2件（昨年度は0件）、入院1カ月以上6ヶ月未満事故件数7件（昨年は6件）。事故の型としては墜落・転落事故によるものが5件あり、これらの事故は一旦事故が起きると重症化する重大な事故になります。

なくそう墜落・転落事故！

事故の原因は、作業中無理な体勢となりバランスを崩したものが3件、梯子、三脚をしっかりと固定していなかった事による事故が2件発生しました。はしごや脚立等を使用する場合には、必ず取扱説明書をよく読み、はしごや脚立等に表示されている注意事項を守るとともに、自らの身体能力を過信せず、バランスを崩したり足を滑らせないように注意しましょう。

◎転落・墜落事故防止対策

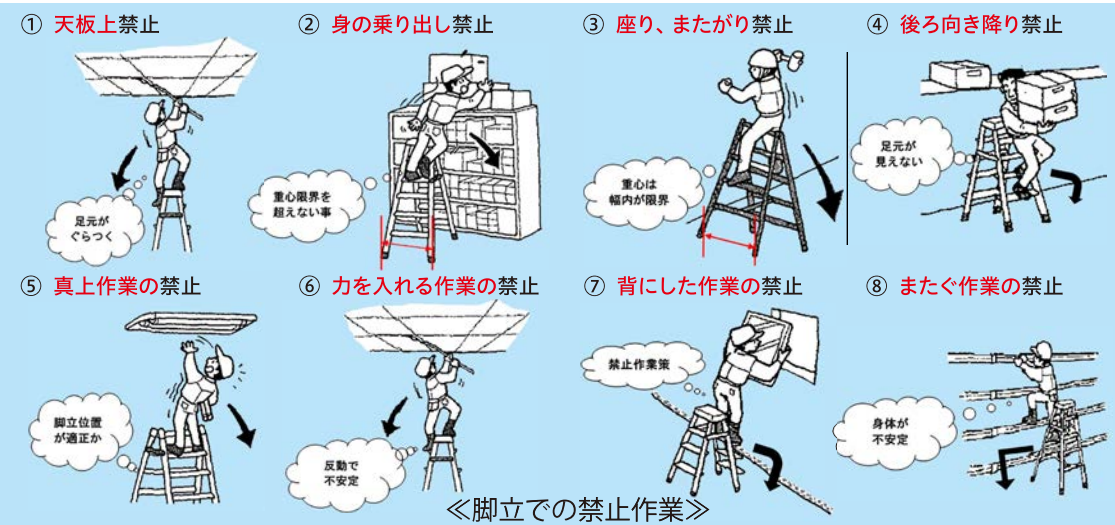
(1) 設置、設備点検

脚立の設置場所や設備点検を十分に行い、脚立を上がる際の災害を防止する

- ・ 止め具の外れ、脚部の故障点検
- ・ 軟弱地盤、傾いた地盤の上では板を敷き設置

(2) 作業姿勢

- ・ バランスを崩しやすい行動を知る
- ・ 作業中は一旦脚立を降りて脚立の位置を調整しなおす
- ・ 脚立と身体を接触させ、姿勢の安定性を高める
- ・ 脚立上への立ち方に注意



飛び石等による事故を防ぎましょう！

損害賠償事故では、「飛散させた物で損壊」（飛び石）が41件（52.6%）と多く、事故原因として事前に十分に就業場所の安全確認や周囲の状況把握を行っていないこと、作業中の標識の未設置、飛散防護ネットの未使用、及び飛び石が発生しにくい刈刃の未使用によるものです。

◎飛び石事故防止対策

- (1) 作業中の立ち入り禁止の措置をカラーコーン、セーフティバー等の標識により行う
- (2) 作業中は人を近づけないように十分離れて作業を行う
- (3) 飛石防止ネットを設置し、小石、ガラスの破片、釘等の障害物を確認する
- (4) 使用する保護具や器具類の確認と点検をしましょう
- (5) 作業別安全基準を再確認しましょう

安全就業の心得

- ★安全就業は、正しい知識と意識から
- ★作業別安全就業基準等は、重要なノウハウという意識を持って、必ず守る
- ★転ばぬ先の4S(整理、整頓、清掃、清潔)を徹底する
- ★あせる気持ちは事故のもと「止める」、「呼び」、「待つ」の徹底を
- ★自分の体力、運動能力の過信は事故のもと
- ★不安安全状態が無いよう指差し呼称

編集だより

「シルバーながの」の創刊号が発行されたのは、20世紀が終わろうとする1999年2月（平成11年）のことでした。昨年11月に岡谷カノラホールで記念式典が開催されたとおり、20年間2回の発行を積み重ね、今回41号をお届けすることになりました。今号は奇しくも、平成最後の発行となりました。平成10年10月1日に社団法人として産声を上げた連合会も、多くの皆様に支えられて、公益法人化を経て、現在に至っております。請負主体から、現在は派遣も年々増加している間に、少子高齢化や人口減少という未体験の社会現象を背景に、シルバー人材センターへの期待は高まるばかりの状況です。一方で、会員の高齢化の進展や雇用延長など、向かい風も強くなっております。センター運営も難しい局面を迎えています。

先人の築いてきた功績を未来に繋げていくためには、『不進即退』を胸に刻み、17,000余名の会員の皆さんと共に、着実に歩みを進めて行かなければなりません。

来年度からは、高齢者活躍人材確保成事業となることから、一緒に働き、喜びを分かち合う仲間をみんなで増やしていきたいでしょう。

人生100年時代を標榜している現代、仮に70歳まで働いても、まだ成人できる以上のパワーを秘めています。

前向きに考えて、追い風を背に、向かい風に挑戦して行こうではありませんか！

待ちに待った春がやってきます。『明るく、元気に いきましょう』を口づさみながら……。